



GORE® ジョイントシーラント

ゴア® ジョイントシーラント(GORE)は、大口径または複雑な鋼製フランジや設備に最適なガスケットで、非常に高い密閉性を実現します。当製品はリール形状となっており、フランジの所定の位置に手早く簡単に取り付けることができますので、従来の大型のガスケット品に比べて材料・労力・リードタイムを大幅に削減することができます。以下の手順に従ってください。

1. ガスケットの選択

1.1 ガスケット幅の選択

平面座フランジ、全面座フランジ:シーリング面の幅を測定し、以下の表より、対応するゴア® ジョイントシーラントの公称幅をお選びください。

溝形フランジ:公称溝幅を超えない公称幅のジョイントシーラントをお選びください。

標準品番	製品		適応シーリング幅 (mm)	最小締付線圧 (N/mm)
	長さ(m)	公称幅(mm)		
RJ03-30-J	30	3	3-7	65
RJ05-15-J	15	5	7-10	90
RJ07-15-J	15	7	10-17	119
RJ10-08-J	8	10	17-25	183
RJ14-05-J	5	14	25-40	261
RJ17-05-J	5	17	40-50	315
RJ20-05-J	5	20	50-65	344
RJ25-05-J	5	25	65+	513

*標準品以外の長尺品及び粘着テープなしの製品に関してはお問い合わせください。

注意:最小締付線圧及び使用長さから締付けに必要な荷重を計算し、それ以上の荷重をかけることができることをご確認ください。

2. ガスケットの取り付け

2.1 取付け準備

ガスケットを貼り付けやすいように、フランジとフランジの間隔を15cm以上開けてください。十分な接着力を確保するために、油分、前回のガスケット残渣、その他の残留物をすべて取り除いてください。また、水分でも粘着力が低下するため、フランジ面を完全に乾かして貼り付けてください。

はめ込み形および溝形

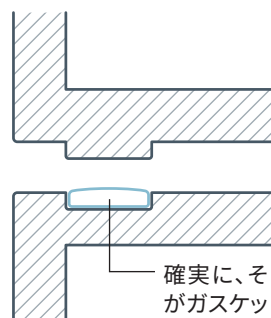


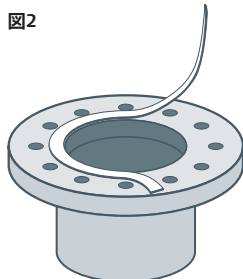
図1

確実に、そして適切な締付圧がガスケットにかけられるように、凸部高さが溝の深さと同じか、それよりも高いことを確認してください。

2.2 ゴア® ジョイントシーラントの取り付け

粘着部に汚れが付着することを防ぐために、取り付ける直前まで剥離紙は剥がさないでください。

図2に示すように、最初に締付けるボルト穴付近から少しはみ出すようにゴア® ジョイントシーラントを配置します。正しい位置に貼り付けられていることを確認しながら、徐々に剥離紙を剥がして、一周貼り付けてください。
一般的な取り付け方法は図3を参照してください。



注意:寒い環境下で使用する際は、あらかじめガスケットを室温程度まで温めてご使用ください。低温下ではテープの粘着性が下がる場合があります。

2.3 取り付け終端部の処理

最初に締付けるボルト穴付近でガスケットを重ね合わせてください。余剰部を少しはみ出してカットします。図3を参照してください。

3.締付け

3.1 締付けトルク

推奨最小締付圧もしくは推奨締付線圧以上となるよう計算された締付けトルクとしてください。また、装置・機器メーカーが推奨する締付けトルクがあれば従うようにしてください。

3.2 フランジの締付け手順

フランジが装置・機器メーカーの特殊仕様以外であれば、次の手順に従ってください。

- フランジ部を閉じ、アライメントが取れていることを確認してください。
- 潤滑剤を塗布したボルトを入れ、校正済みのトルクレンチにて、対角締付けにてトルクを徐々に上げて(30%→60%→100%)締付けてください。
- 円周締付けにて、ナットが回転しなくなるまで、目標トルク(100%)で繰り返し締付けてください。
- 4時間以上経過したのちに、再度、円周締付けにて、ナットが回転しなくなるまで、目標トルク(100%)で繰り返し締付けてください。

詳細はESA/FSA「Gasket Installation Procedures」やASME PCC-1などを参照してください。

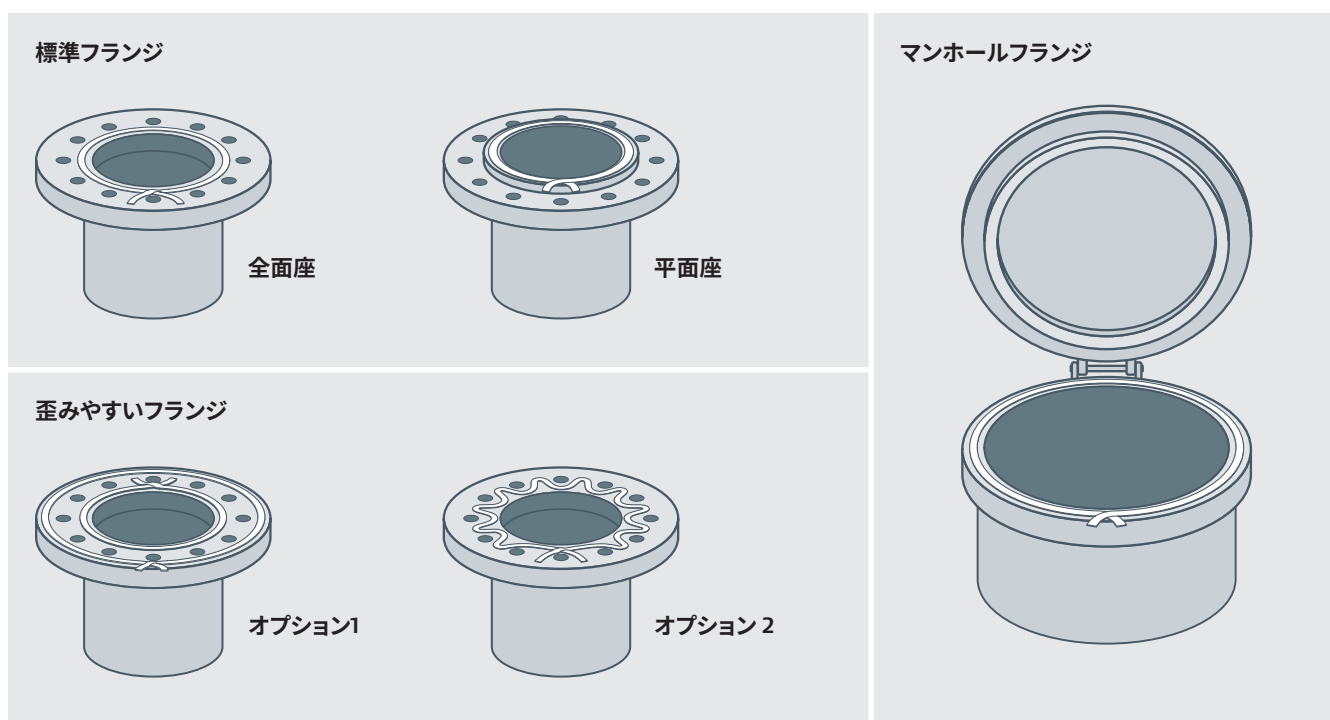


図3

4.ゴア® ジョイントシーラント (公称幅 $\geq 17\text{mm}$) の取り付け方法

4.1 スカイクット法

用途によっては、取り付け際の交差部分に十分な圧力がかからず、問題が生じることがあります。これは、公称幅17mm以上のゴア® ジョイントシーラントに当てはまるケースが多いので、公称幅17mm以上のサイズをご使用の際にはスカイクット(斜めカット)にて接続することを推奨いたします。

4.2 スカイクットによる取り付け手順

- フランジ面とは別の清潔で平坦な場所にゴア(R)ジョイントシーラント取り出し、カッター等で図4を参照に斜めにカットしてください。
- カットした部分を最初に締付けるボルト付近に配置し、2.2と同様の方法でフランジに一周貼り付けてください。
- フランジを一周したら、スカイクットした部分に重ね、数cmほどテープを長めにカットします。スカイクット部分に重ね合わせた上側テープとの間に隙間ができないように押し付けてください。
- 図5を参考に、上側テープをカッター等でカットしてください。カットの際に下側テープにカッター刃が入ってしまっても問題ありません。また、カットの際にカットする部分に目印となる直線を引いておくとカットしやすくなります。
- 図6を参照し、カット部分に以下のようなものがみられる場合には、取り付けをやり直してください。
 - 接続部の厚さが元テープの厚さよりも薄い部分がある(へこみがある)
 - カット端部に段差がある
 - 接続部が厚すぎる(元厚さの1.5倍以上)

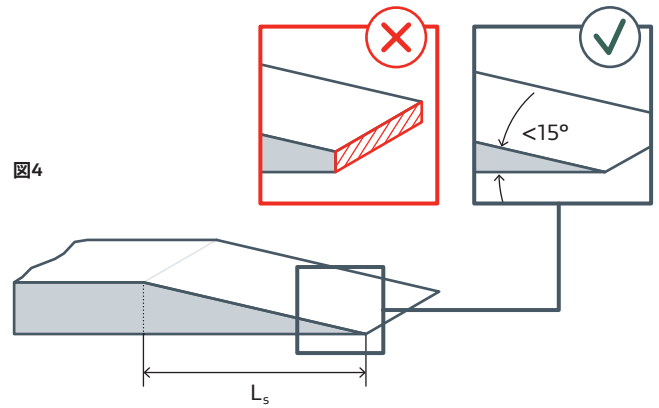


図4

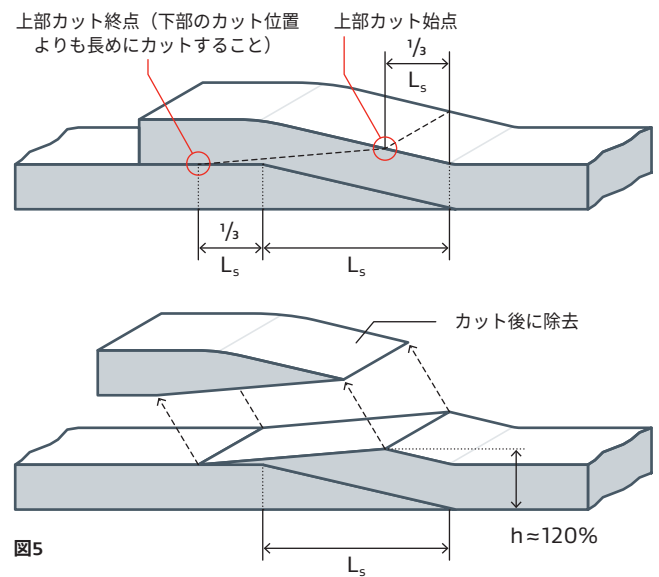


図5

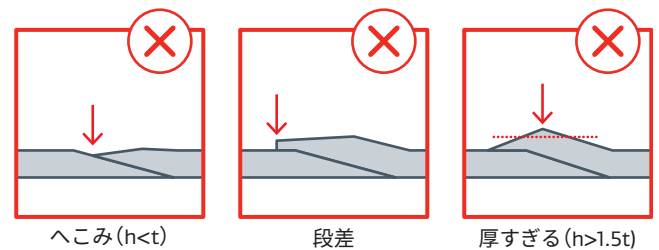


図6

本製品は工業製品に限定してご使用ください。食品、医薬品、化粧品または医療機器の製造、加工、包装工程にはご使用いただけません。

記載された技術情報及び推奨事項は全て、ゴアにおける過去の経験および／または試験結果に基づくものです。可能な限り正確な情報を記載しておりますが、法的責任を伴うものではありません。製品の動作性能は運転データが全てそろわない限り判断いたしかねますため、お客様のご使用状況にて適合性と機能性をご確認ください。上記情報は変更されることがあり、仕様書として使用することはできません。ゴア製品の販売には、販売についてゴアが定める条件が適用されます。

GORE、ゴア、Together, *improving life* および記載のデザイン (ロゴ) は W. L. Gore & Associates の商標です。© 2013–2023 W. L. Gore & Associates G.K.

日本ゴア合同会社
〒108-0075 東京都港区港南 1-8-15 W ビル 14F
TEL 03-6746-2584 FAX 03-6746-2571
gore.co.jp/joint-sealant

